



すいた市議会だより

No.317

11月定例会・1月臨時会合併号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ◎吹田市泉町1丁目3番40号 ◎直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは (<https://www.city.suita.osaka.jp/home/shigikai.html>)

◎本会議のインターネット放映(生中継・録画放映)を実施しています。「議会中継(インターネット)」からぜひご覧ください。

定例会の概要

代表質問

質問

常任委員会

意見書等

議決結果

1月臨時会

北摂5市による消防通信指令事務の共同実施の開始へ

11月26日から12月18日までの会期中で11月定例会を開きました。本定例会では、地方独立行政法人市立吹田

市民病院に対する運営資金の貸し付けに要する経費等を計上した一般会計補正予算案(第12号)をはじめ、吹



5市による消防通信指令事務の共同実施により、消防サービスの高度化を図ります。(写真は現在の吹田市・摂津市消防指令センターの様子)

主な掲載内容

11月定例会の概要	1
代表質問・質問(個人質問)	2~7
常任委員会の審査から	8~12
意見書、議会日誌	13
議決結果	14~15
1月臨時会の概要	16

田市名誉市民の称号に関し必要な事項を定める名誉市民条例案、令和6年4月からの消防通信指令事務の共同実施に向けた豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議に係る議案や、市民ホール等の公共施設の指定管理者の指定など、市長から提出された36件の議案は、すべて議決等を行いました。

なお、議員からは5件の市会議案が提出されました。(委員会での審査内容の一部は8~12面に、議決結果等は14、15面に掲載)

代表質問・質問について

12月3日、4日、7日、8日の4日間で33人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は令和2年11月定例会時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、新型コロナと略して表記しています。

代表質問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。



民主・立憲フォーラム
西岡 友和

コロナ禍における自治会組織等に対する支援について

問 新型コロナウイルスの感染拡大により本市の地域諸団体では、そのほとんどの活動を中止せざるをえない状況である。これまでは開催を模索するも実施を諦めざるをえなかったが、今後は先の見通せない感染拡大を踏まえ、これまでどおりの開催はかなわないことも前提に、諸団体に対して代替となる取り組みや別角度からの支援などを充実させるべきと考える。こうした観点から、これまでのコミュニティを維持するための施策などについて、市の見解を求めます。

答 自治会活動においては今後も地域の声を聞き、適切な感染防止対策を行ったうえで歴史ある地域行事の継続を模索するとともに、SNS等を活用した新形態の活動も支援したい。また、子どもたちに関わる諸団体には、市の新型コロナ対策や創意工夫された取り組み事例等を情報提供するなど連携を進め、行事等に集つ子どもたちとボランティアとのつながりが薄れないよう努める。



市民と歩む議員の会
池淵 佐知子

PCR検査体制は十分か

問 新型コロナウイルス感染拡大の第3波が大きく長く続けば、PCR検査件数が不足するのではないかと。協力診療機関を増やすとともに、検体回収センターの事業継続が必要ではないか。

答 地域の医療機関全体でPCR検査体制を確保していく。検体回収センターは臨時的事業であるが、地域外来・検査センターの稼働状況を見ながら、継続の必要性について、開設者である医師会と検討していく。

学校給食費の公会計化を

問 学校給食運営の透明性確保や教職員等の負担軽減のメリットから、学校給食費の公会計化に取り組む必要があると教育長は過去の議会で答弁してきた。なぜ、実現しないのか。

答 学校事務改善検討委員会において、教職員の負担軽減や保護者の利便性向上を図るため、学校徴収金の取り扱いも併せて検討することにした。一括徴収システムの導入などの意見もあり、実施時期等を含め、具体的な内容を示せるよう検討していく。



大阪維新の会・吹田
高村 将敏

保育所の手続きの見直しを

問 公立保育所において、保護者や職員の負担軽減を図るため、手続きの簡素化や電子化を進め、また、業務全体を抜本的に再構築すべきと考えるが、副市長の考えを聞きたい。

答副市長 令和4年からのスマートフォンによる保育所利用申し込みの実施など、業務改善の検討を指示している。市民の利便性の向上と職員のワーク・ライフ・バランスの両立の実現を目指し取り組みを進めたい。

小学校給食費の徴収について

問 各小学校で徴収し、学校給食会が管理している給食費を、業務改革の一環として、市が一元管理してはどうか。学校現場の負担軽減につながり、迅速な対応や対策が可能な管理体制となるため、合理的な運営方法と考えるが、所見を問う。

答 学校事務改善検討委員会において、学校徴収金の取り扱いと併せて給食費の公会計化を検討している。学校現場の負担軽減と保護者の利便性の向上に取り組んでいく。



公明党
矢野伸一郎

包括的な支援体制を整備せよ

問 新型コロナウイルスの影響による住居費への不安など、多様な生活課題を抱える人に対して、包括的な支援体制が必要である。令和3年4月に改正社会福祉法が施行され、新たに重層的支援体制整備事業が創設されるが、本市も早急に取り組みべきでないか。

答市長 コロナ禍で苦しむ市民に対して、市独自の対策に加え、必要に応じて包括的な支援に取り組んできた。引き続き、困難な状況にある市民へ実効性の高い取り組みを進めていく。

市の医療提供体制を万全に

問 全国各地で新型コロナウイルスは感染拡大の状況にあるが、本市の医療提供体制の現況を聞きたい。また、医療崩壊を防ぎ、市民の命を守るため、市はどのように取り組んでいるのか。

答 市内の病院や市三師会等と新型コロナウイルスに係る情報共有や救急診療体制等の意見交換などを実施し、医療提供体制の確保に努めている。今後感染状況を見ながら、市民が安心できる同体制の整備に取り組む。



日本共産党
益田洋平

社会的検査でクラスター予防を

問 本市でも高齢者施設等で、新型コロナウイルスのクラスターが発生している。高齢者施設等での感染を防ぐことは、医療提供体制の確保にもつながると考えるが、有症状者への検査だけでなく、社会的検査として定期的なPCR検査を実施すべきでないか。

答 介護福祉施設等での定期的な社会的検査の実施は、必ずしもクラスターの発生を防ぐものではなく、検体採取等の業務量や検査費用が増大するため、実施する予定はない。

少人数学級実現に向けた対応を

問 本市が実施している少人数・習熟度別指導より、少人数の学級編制が、学力向上に効果があるとの研究結果がある。少人数学級実現に向け、まずは、支援学級在籍者をダブルカウントすることを求めるがどうか。

答 支援学級在籍児童、生徒を通常学級の児童、生徒数に含めることは、きめ細かな指導等を行うための少人数学級編制につながることを考えており、引き続き、国や府に要望していく。



吹田新選会
石川勝

江坂公園の官民連携による魅力向上について

問 江坂公園の今後の活用について、企業や団体等の多くの力を集め、新たな価値を創造していくべきと考えるが、実現のための担い手の確保策について所見を問う。

答 周辺自治会や企業、公園で活動するボランティア団体等と意見交換を行い、協体制について検討を進めている。公園の指定管理者には、地域の魅力を創出する新規事業者の開拓や各関係団体のコーディネートを期待している。

江坂公園地下駐車場跡の利活用

問 江坂公園の地下駐車場跡の利活用について、取り組み状況と今後の見込みを聞きたい。

答 江坂公園の魅力向上に向け、駐車場跡単体ではなく、公園との一体的な利活用を前提に、民間事業者の提案を受けながら検討してきた。地下1階は自走式駐車場として活用可能だが、地下2階は活用に課題があるとの意見を頂いている。



自由民主党幹の会
里野善徳

健都での医療体制と地域経済

問 健都を中心に、今後どのような医療体制を作るのか。また、健都のまちをどのように地域経済の活性化につなげていくのか、見解を問う。

答 地域医療と連携し、データを活用した健康づくりの取り組みを進めることは重要と考える。今後は、ICTの活用を図るとともに、関係者と連携しながら、さらなる検討を進めていく。また、地域企業も含めた産学連携の推進を図るなど、健都の資源を全市に還元していきたい。

公共施設の最適化について

問 公共施設の最適化の観点から、複合施設へ機能等を移転し、集約することで生まれる跡地の活用については、計画が白紙である。土地活用について、市の見解を問う。

答 機能移転等に伴う公共施設の余剰床については、公共施設の最適化の取り組みの中で、他の機能へ転用する等の活用を図る。また、土地については、行政財産として活用の検討や貸し付けや売却による活用を図る。

質問(個人質問)

今定例会では26人の議員が質問(個人質問)を行いました。



大阪維新の会・吹田
松尾 翔太

骨髄移植ドナー助成制度の導入

問 ドナーが骨髄を提供する場合、入院等により長期休暇の取得が必要のため、実際に移植につながるの約6割と聞く。解決策として、本市においても、ドナーや事業所等への助成金制度の導入を望むが、市の認識と実現可能性について聞きたい。
答 助成金制度は有効な手段と認識している。骨髄移植推進の取り組みを、他市事例を参考に研究していく。



自由民主党絆の会
澤田 直己

分かりやすい行政評価の再考を

問 行政評価に係る評価調書の作成は多大な時間を要し、本来の目的の事業見直しへの活用が図られていないとのことだが、説明責任や透明性の確保等の観点からも、事務事業等の詳細な情報を公開すべきでないか。
答副市長 指摘を踏まえ行政評価が分かりやすい内容になるよう、財務諸表も含め、市として説明責任を果たすため、内容の精査に努める。



吹田新選会
有澤 由真

学校給食で都市交流を

問 国内交流都市の特産物を、食育や良質な食材を全児童に平等に提供する観点から、学校給食に使用できないか。児童の都市交流や食への理解にもつながると思いが所見を問う。
答市長 都市交流や食育の面で多くの意義を感じ、大変興味を持った。食材の安定供給や遠方からの輸送等の課題はあるが、安全で栄養バランスのとれた給食の提供の参考としたい。



大阪維新の会・吹田
井口 直美

地区市民ホールの運営改善を

問 地区市民ホールごとに利用条件が異なり、利用者が地区の諸団体に偏りがちになっている。また、自治会加入者等に利用が制限されている場合もある。条件を統一し、誰もが利用できるようにすべきではないか。
答 各ホールで定める利用規定等にはそのような制限はないが、自治会非加入者等の利用を制限する運用がされていれば、改善すべきと考ええる。



公明党
浜川 剛

SNSによるいじめ相談窓口を

問 こどもSOSカード等のいじめ相談体制は、対応の即時性に疑問が残る。SNS等を活用した相談窓口を創設し、身近な方法でいつでも相談できる体制を構築すべきでないか。
答 GIGAスクール構想に基づく一人一台端末を活用した相談手段の構築に取り組んでおり、児童、生徒にとつて使いやすい、安心して相談できるものとなるよう検討していく。



市民と歩む議員の会
馬場慶次郎

学習用タブレット端末の活用を

問 市立小・中学校全学年で一人1台ずつ配備される学習用タブレット端末は、先進自治体を参考に日常的な自宅への持ち帰りを可能とし、予習、復習などの家庭学習にも最大限活用させるべきではないか。
答 端末を日常の学びに活用することの有用性は認識しているが、まずは緊急時の対応に備え、試験的に持ち帰り使用することを想定している。



日本共産党
玉井美樹子

施設整備に地元意見を反映せよ

問 北千里小学校跡地複合施設の指定管理者制度導入に際し、寄せられた市民意見は何通か。また、地元関係者等からの意見聴取については十分とは言えないため、改めて意見を聴取すべきではないか。
答 寄せられた市民意見の総数は320通である。引き続き、丁寧な説明を行うとともに、関係者等から、改めて意見聴取の場を設ける予定である。



公明党
小北 一美

公有地の活用を進めよ

問 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は大幅な税収減が見込まれるが、市民生活に必要な事業予算は確保しなければならぬ。財源確保のため、市が保有する公有地のうち、現在利用予定のない普通財産の土地は、売却や有効活用を図るべきでないか。
答 提案の土地の活用については、市公有地活用の考え方に従い、今後も未利用地の縮小に努めていく。



大阪維新の会・吹田
橋本 潤

新型コロナウイルス感染に係る情報開示

問 児童、生徒や教職員が新型コロナウイルスに感染した際、本市では学校名を公表していない。近隣自治体の感染確認時の情報開示状況及び、本市の公表についての見解を問う。
答 北摂6市では、豊中市が臨時休業を行った学校名を公表している。今後、学校でクラスターが発生し、周知する必要が生じた際には、関係部局と協議し、適切に対応していく。



民主・立憲フォーラム
山本 力

少人数学級編制などの実現を

問 長期的な財政負担のため、ダブルカウントを含めた少人数学級編制の本市独自での早期実施は困難とのことだが、段階的な実施の可否も含め、実現の課題について見解を問う。
答 まずは教員加配定数の少人数学級編制への積極的な活用を促し、1校でも多く、課題の解消に努めたい。
答市長 現在の1学級当たりの児童、生徒数は、見直す必要がある。



日本共産党
塩見みゆき

学校看護師間の連携体制を

問 学校看護師は、一人勤務が多く、看護師間の横の連携や、指導的立場の看護師の配置もない状況を改善すべきと考える。医療的ケアを必要とする児童、生徒の学校現場での環境整備について、見解を問う。
答 他校の看護師間の連携体制等について、他市状況を確認し、同一校に勤務する看護師が校内での業務相談等ができるよう、改善に努めたい。

教えて！議会のこと③



吹田市イメージキャラクターすいたん

「質問」

本会議では、各議員が議案に関する質疑と一般質問(市の一般事務についての質問)を一括して質問します。3人以上の議員が所属する会派による代表質問(会派から一人のみ)と、質問(個人質問)を定例会ごとに行っています。なお、代表質問を行うかどうかは会派の選択制となっています。質問の方式は複数の項目をまとめて聞く「一括質問一括答弁方式」と、一問ずつ聞く「一問一答方式」の選択制になっています。

質問する順番は、定例会ごとに議会運営委員会で抽選(くじ引き)によって決まります。質問(個人質問)の人数制限はありませんが、代表質問をした議員はできません。

質問する時間は、原則として会派構成人数(正副議長は除く)に15分をかけた時間が代表質問と質問(個人質問)の合計時間となります。ただし、代表質問は60分以内、質問(個人質問)は一人20分以内となっています。



定例会の概要
代表質問
質問
常任委員会
意見書等
議決結果
1月臨時会



日本共産党
山根 建人

本と出会える機会の確保を

問 自動車文庫廃止について、利用者や子どもたちに意見募集をしたのか。また、図書館利用不便地域へは、連絡車両を活用し巡回地域を柔軟に拡充すべきと考えるが、見解を問う。

答 自動車文庫廃止へ直接、利用者意見は聴取していないが、今後、図書館全般へのアンケートを実施したい。また、パブリックコメントの結果を踏まえ配本等のサービスを検討する。



自由民主党絆の会
藤木 栄亮

千里山の阪急バスの運行経路

問 地方独立行政法人市立吹田市民病院が建都へ移転し、千里山駅周辺からのアクセスが不便との声がある。阪急バス株式会社の岸辺駅へのルートの実現を要望するが、見解を問う。

答 アクセス改善を求めるニーズも認識しており、今後、公共交通事業者や関係機関などから意見を聞く場を設置し、地域の公共交通の課題解決に取り組んでいきたい。



公明党
野田 泰弘

令和3年度の予算編成について

問 災害時等に備えた市の貯金ともいえる財政調整基金が新型コロナウイルス対策に費やされ、残高が約17億円から約17億円に減少しているが、来年度の予算をどう編成しているのか。

答 同基金は、今後国の交付金や決算調整等により、令和2年度末には残高の回復を見込んでいる。例年以上に決算見込みの精度を高め、予算編成に必要な財源確保に努めていく。



日本共産党
柿原 真生

子どもを守る早期の性教育を

問 子どもを性暴力から守り、傍観させないために、幼少期からの包括的性教育は重要であり、国際的指引もある。就学前のセクシュアリティ教育の本市の現状と、見解を問う。

答 公立幼稚園・保育所では、改めての性教育ではなく、人権教育の一環として、自分や他者を大切にする気持ちを育み、男女の体の違いや、その大切さなどを伝えている。



公明党
井上真佐美

南吹田地域に
コミュニティ施設の整備を

問 南吹田地域は、新駅が開業し、今後人口増加が予想される地域だが、地域住民の交流や災害時の拠点となる公共施設が不足している。広域的なコミュニティ施設を早急に整備すべきと考えるが、市長の見解を問う。

答 同施設の適切な候補地を考えたうえで、用地の確保に係る課題を中心に整備の検討に努めていく。



公明党
坂口 妙子

避難所の混雑状況の見える化を

問 コロナ禍で3つの密の回避が求められる中、他市では感染対策の一環として、災害時の避難所の混雑状況を把握できるアプリ等を運用している。本市も市民の安全確保のため、同様のサービスを運用してはどうか。

答 分散避難や混雑解消のためにも、避難所情報が見える化は必要と認識しており、今後先進事例の研究等を進め、実現に向けて取り組んでいく。



民主・立憲フォーラム
川本 均

市道穂波芳野線の再整備を

問 フラワーロードと命名された市道穂波芳野線は一部区間が整備されたが、全体をふかんすると愛称にふさわしい道路形態ではない。市南部のコミュニティ道路の重要路線として、再整備を進めるべきではないか。

答 周辺道路改良等を含め、連続性と環境改善等に配慮することで地域コミュニティに結びつけ、まちの機能を効果的、効率的に発揮させたい。



公明党
吉瀬 武司

コロナ禍での窓口業務について

問 コロナ禍における窓口業務の在り方については、部局を超えた包括的な検討が必要である。感染予防やサービス向上のため、ICT化や外部委託等による業務改革が求められるが、現在の検討状況を聞きたい。

答 来庁不要な手続きの拡充や予約制導入による来庁時の混雑緩和に努めるとともに、簡易な申し込みについてオンライン対応等を進めている。



日本共産党
竹村 博之

公園の指定管理は再考を

問 公園という公的な場の管理運営を、民間事業者に委ねることで、事業者の利益が優先され、市民にとっての自由な公園利用が阻害される事態を懸念する。公園の管理運営への市の責任を問う。

答 指定管理者に対し、市として公園の目指すべき姿を示し、平等利用や安全確保等を順守させ、モニタリング等で確認していく。



市民と歩む議員の会
五十川 有香

レッドステージ下での教育活動

問 大阪府独自基準「大阪モデル」のレッドステージ移行後も、市立小・中学校は休業しないと決定した根拠等は何か。また、在籍児童等や高齢者と同居する児童等の数も聞きたい。

答 市長が本部長の対策本部会議で、感染リスクと国等の動向を踏まえて決定した。また、令和2年12月現在の在籍児童等は2万9,894人で、高齢者との同居数は把握していない。



自由民主党絆の会
石田 就平

総合福祉会館の在り方について

問 総合福祉会館は、事業委託などの結果、開館当初に比べ、業務量は激減し、十分に活用されていない。吹田市保健所と併せて、施設の再編について早急に検討してはどうか。

答副市長 新型コロナウイルス対策のため、臨時的に保健所の機能の一部を同会館内に移転する準備を始めた。新型コロナウイルスが終息した後、同会館の周辺を含め、在り方の検討を始めたい。



大阪維新の会・吹田
齋藤 晃

監査委員の信用失墜行為

問 大阪府都市競艇企業団議会に、元市職員の監査委員が市長の代理で出席していたが、監査委員制度をないがしろにする行為と懸念する。市と監査委員のなれ合いが原因であり、元市職員を監査委員に選任すべきでないと考えますが、市長の見解を問う。

答市長 監査に適した人材を選任しており、決してなれ合いにならないよう、双方で努めてまいりたい。



自由民主党絆の会
泉井 智弘

あいほうぶ吹田の運営の在り方

問 過去に行われたあいほうぶ吹田の委託事業者の選定委員会において、市の説明は、公平性等に欠けているのではないかと。また、指定管理者制度導入や、契約内容を見直し、受け入れ体制の確保等を求めるがどうか。

答 公平性等の確保の観点から、今後、発言に注意するよう周知徹底する。また、指定管理者制度の導入を視野に入れ、運営の見直しを進める。



無所属クラブ
生野 秀昭

規則改正理由書の改ざん

問 市が、道路法解説の名前を使い、都合の悪い文章を削除し理由書を作成したことは改ざんである。基本である道路法第1条の目的は公共の福祉の増進であり、理由書の目的は企業の利益とある。整合性を求める。

答 文章を変更した理由は、道路法の趣旨を説明するためであり、改ざんの意図はなく、双方の目的は異なり整合性を図る必要はないと考える。



自由民主党絆の会
白石 透

総合計画の見直しについて

問 新型コロナウイルスの影響で変容した社会経済環境を踏まえ、総合計画を見直す自治体がある。本市でも、数字の修正や期間変更等多くの課題が浮かび上がると考えるが、見解を問う。

答 実施計画を見直しながら状況把握に努め、第4次総合計画について見直しの時期や手法等を検討する。
答市長 変えるべきところは、逐次変えていく必要があると考える。

市議会だよりを気軽にスマホで！

各自治体の広報紙をスマートフォンやタブレットなどで閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で、第312号(令和2年2月定例会号)以降の市議会だよりを配信していますので、ぜひご覧ください。



アプリのダウンロード▶



iOS用



Android用

常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。検索、閲覧方法については、12面を参照してください。
また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。

主な付託案件

議案第163号 一般会計補正予算(第12号)

地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営資金の貸し付けや、私立小規模保育事業所の整備に係る助成金の交付に要する経費など、14億7,740万円の増額補正のほか、債務負担行為(複数年度にわたり支出を予定する事業)補正として、佐竹千里山駅線道路改良工事等を追加

予算常任委員会には予算案2件が付託されました。
主な付託案件、主な内容(審査内容・結果を含む)は、次のとおりです。

予算常任委員会
〔審査案件〕
予算関係の議案

議案第163号 一般会計補正予算(第12号)



〈主な内容〉

- 特別職秘書事業 1万円
吹田市名誉市民候補者検討会議の委員に対する謝礼を追加
- 人事管理事業 361万円
令和3年度からの公立幼稚園等に勤務する保育教諭に対する教職調整額支給に伴う人事給与システム改修費用を追加



保育教諭が勤務する市内の幼保連携型認定こども園

- 特定教育・保育施設等整備支援事業 4,151万円
- 施設型・地域型保育給付事業 3億1,238万円
当初見込みを上回る施設型・地域型保育給付費を追加

- 地方独立行政法人市立吹田市民病院関連事業 10億2,000万円



市立吹田市民病院

- 健康診査事業 154万円
国立循環器病研究センターの知見を活用した心不全予防のための保健指導の実施に係る経費を追加
- 指令調査事業 1万円
北摂5市による消防指令業務共同運用に向けたシステム調達支援業務の事業者選定に係る経費を追加

主な付託案件

議案第137号 名誉市民条例

名誉市民の称号に関し、必要な事項を定めるものです。

議案第161号 豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議

令和6年4月1日からの消防通信指令事務の共同実施の開始に向け、豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会を設置することに関し、関係市と協議を行うものです。

財政総務常任委員会には条例案等3件が付託されました。主な付託案件及び審査内容・結果は、次のとおりです。

財政総務常任委員会
〔審査分野〕
防犯・防災、消防、行財政など

議案第137号 名誉市民条例

全員賛成で承認

〈主な質疑項目〉

- 名誉市民の対象基準となる分野を条例に分かりやすく明記する必要性
- より厳格な対象基準となる分野の設定
- 対象基準となる分野を事前の説明から変更した理由
- ノーベル賞受賞者以外が名誉市民になる可能性
- 名誉市民の称号と市長賞との贈呈基準の相違点
- 市長賞との違いの明確化
- 名誉市民候補者の意向を十分考慮したうえでの称号贈呈の検討
- クラフォード賞の受賞者などに対しても、名誉市民となるよう市民に認知される実績の積み上げ等を市が支援する取り組みの必要性

名誉市民候補者検討会議



〈賛成意見の概要〉

- 名誉市民条例においては、基準を明確化し、今後、市長賞との混同がないように、はっきりとした選定基準の下、本市のブランディングを高めていくうえで、適切な名誉市民を選定していただきたい。
- 本案に賛成はするが、本会議をはじめ、当委員会の質疑では、対象や基準が揺らいでいる。市長賞とは差別化を図り、その対象については、例外や逸脱を許さない、厳格な運用をされることを強く求める。

議案第161号 豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議

全員賛成で承認

〈主な質疑項目〉

- 消防通信指令事務協議会の関係市が負担する経費の割合が今後、固定化される可能性
- 消防通信指令業務の円滑な共同運用に向けた職員研修の実施
- 同業務の共同運用開始後も、適正な人員配置を維持する必要性
- 本市の消防の広域化における今後の方向性

主な付託案件

- 議案第145号～152号 各市民ホールの指定管理者の指定
令和3年4月1日から令和8年3月31日までの、各市民ホール(8施設)の指定管理者を指定するものです。
- 議案第153号～156号 各コミュニティセンターの指定管理者の指定
令和3年4月1日から令和8年3月31日までの、各コミュニティセンター(4施設)の指定管理者を指定するものです。
- 議案第159号 総合運動場の指定管理者の指定
吹田市体育協会・ミズノグループを、令和3年4月1日から令和8年3月31日まで指定管理者に指定するものです。

文教市民常任委員会には単行事件15件が付託されました。主な付託案件及び審査内容・結果は、次のとおりです。

文教市民常任委員会
〔審査分野〕
教育、文化、コミュニティなど

議案第145号～152号 各市民ホールの指定管理者の指定

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 施設への要望に対し、地域の実情に応じた対応を市が助言する必要性
- 地域住民の運営により問題が生じた場合の対応策
- 地区市民ホール運営委員会委員長が無報酬の理由



津雲台市民ホール

議案第153号～156号 各コミュニティセンターの指定管理者の指定

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 指定管理に係る人件費の内訳
- 施設の状況に応じて、指定管理者候補者の選定基準項目を見直す必要性
- 地域住民の利用割合を把握せずに、地域の基盤施設を理由に非公募で選定したことに対する認識
- 稼働率向上策の実施
- 施設の老朽化に対応した改修計画



内本町コミュニティセンター

議案第159号 総合運動場の指定管理者の指定

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 指定管理者候補者選定において一部の選定委員から著しく差のある評点が示された場合の対応
- 選定に疑念が生じないようにするための選定委員会の委員構成への配慮
- 公の施設として、民間企業とは異なる本市独自の運営方針の策定
- 市民サービス向上のため、指定管理者任せの運営によらない市の積極的な関与の必要性
- 施設利用予約における公平性の担保



総合運動場

付託案件

議案第143号 調停条項案の受諾

地下水汚染対策措置継続請求事件について、大阪府公害審査会から提示された調停条項案を受諾するものです。

議案第144号 公用車のリース契約の解除に係る損害賠償額の決定

議案第160号 花とみどりの情報センターの指定管理者の指定

株式会社日比谷アメニスを、令和3年4月1日から令和8年3月31日まで指定管理者に指定するものです。

建設環境常任委員会には単行事件3件が付託されました。付託案件及び主な審査内容・結果は、次のとおりです。

建設環境常任委員会
〔審査分野〕
道路、公園、水道、環境など

議案第143号 調停条項案の受諾

全員賛成で承認

〈主な質疑項目〉

- 被申請人企業から徴収することになる下水道使用料の見込み額
- 同企業に適用される下水道使用料の減免の詳細
- 調停条項案第12項にある浄化措置の継続に影響を及ぼしうる事情の具体的内容
- 地下湧水の汚染浄化状況

議案第144号 公用車のリース契約の解除に係る損害賠償額の決定

全員賛成で承認

〈主な質疑項目〉

- リース契約が解除になるほどの事故の発生原因
- 当該事故における相手方車両の車名

議案第160号 花とみどりの情報センターの指定管理者の指定

全員賛成で承認

〈主な質疑項目〉

- 花とみどりの情報センターにおける指定管理者候補者の職員体制
- 選定基準の評価項目にある同センターの利用促進策について、同候補者が示した具体的内容
- 同候補者が同センターの外観を改善する見込み
- 統合後の江坂花とみどりの情報センター跡での同候補者による講習会の開催予定
- 事業実施に係る同候補者の裁量範囲
- 指定管理委託料について、今年度予算額と同候補者が示した提案額との差の内訳



4月から花とみどりの情報センターに移行する、千里花とみどりの情報センター

付託案件

議案第138号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
教育職員に教職調整額を支給するものです。

議案第139号 保健所事務手数料条例の一部改正
食品衛生法施行令の一部改正に伴う許可手数料の変更等を行うものです。

健康福祉常任委員会には条例案2件が付託されました。
付託案件及び主な審査内容・結果は、次のとおりです。

健康福祉常任委員会
〔審査分野〕
福祉、医療、子育てなど

議案第138号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 本条例改正による給料月額を引き下げ改定の人材確保への影響に対する認識
- 他市状況も踏まえた本条例改正以外の人材確保策の検討
- 人材確保・定着のための職場環境改善の取り組み状況
- 本条例改正に伴って創設される保育教諭職について、その設置による人材定着の効果
- 保育教諭の配置が想定される幼保連携型認定こども園の現在の職員体制に関する検証の必要性



議案第139号 保健所事務手数料条例の一部改正

全員賛成で
承認

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。
なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。
(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会の
ホームページ

本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録
検索システム



i 議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

議 会 日 誌

9月定例会閉会後の主な議会活動

開催した会議	
10月	9日 議会運営委員会小協議会
	15日 決算常任委員会財政総務分科会
	16日 決算常任委員会文教市民分科会
	19日 決算常任委員会健康福祉分科会
	20日 決算常任委員会建設環境分科会
	27日 決算常任委員会
11月	10日 議会広報委員会
	11日 防災・減災等対策特別委員会
	13日 議会運営委員会小協議会
	19日 議会運営委員会
	20日 議会運営委員会小協議会
	26日 本会議、議会運営委員会
	27日 議会運営委員会
12月	30日 本会議
	1日 議会広報委員会
	3日 本会議
	4日 本会議
	7日 本会議、議会運営委員会
	8日 本会議 常任委員会(財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境、予算)
	9日 財政総務常任委員会 予算常任委員会財政総務分科会
	10日 文教市民常任委員会 予算常任委員会文教市民分科会
	11日 健康福祉常任委員会 予算常任委員会健康福祉分科会
	14日 建設環境常任委員会 予算常任委員会建設環境分科会
	15日 予算常任委員会、防災・減災等対策特別委員会
17日 議会運営委員会	
18日 本会議、議会運営委員会	

～意見書～

次の意見書案3件を可決し、政府等に送付しました。
(意見書の一部を抜粋して掲載しています。)

○不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

人工授精や体外受精、男性に対する治療等も保険適用対象とし、保険適用が拡大されるまでの間は助成制度を拡充し、経済的負担の軽減を図ること。また、相談体制の拡充を図ることなどを強く求める。

○尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾などに関する意見書

日本漁船への追尾・威嚇行為を行わないよう中国政府に働きかけ、平和的な外交により関係改善を図りながら冷静かつ、きげんたる態度で安全確保について適切な措置を講ずることを要請する。

○少人数学級の実現を求める意見書

柔軟な学級編制や教職員配置による少人数学級の実現とともに、きめ細かな指導体制や施設等の環境整備に必要な予算措置を講ずることを求める。

～人事案件～

11月定例会では、次の方々の選任に同意しました。

○教育委員会教育長(任期3年)

にしかわ としたか 氏
西川 俊孝 氏

○教育委員会委員(任期4年)

あだち ゆきこ 氏 あめの ひろこ 氏
安達 友基子 氏 飴野 仁子 氏

令和3年(2021年)2月定例会日程

2月定例会を2月19日(金)から3月23日(火)までの会期で開催しています。なお、以下の日程以外にも委員会等を開催する場合があります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、定例会の日程や傍聴の取り扱いなどを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2月19日(金) 本会議(提案説明)	3月9日(火) 予算常任委員会(文教市民分科会)
26日(金) 本会議(質 問)	10日(火) 予算常任委員会(文教市民分科会)
3月1日(月) 本会議(質 問)	11日(水) 健康福祉常任委員会、建設環境常任委員会
2日(火) 本会議(質 問)	12日(金) 予算常任委員会(健康福祉分科会)
3日(水) 本会議(質 問)	15日(月) 予算常任委員会(健康福祉分科会)
予算常任委員会(提案説明、資料要求)	16日(火) 予算常任委員会(建設環境分科会)
4 常任委員会(提案説明、資料要求)	17日(水) 予算常任委員会(建設環境分科会)
4日(木) 財政総務常任委員会、文教市民常任委員会	18日(木) 予算常任委員会(討論・採決)
5日(金) 予算常任委員会(財政総務分科会)	23日(火) 本会議(討論・採決)
8日(月) 予算常任委員会(財政総務分科会)	

※本会議の各質問日の質問者・項目を事前に市議会ホームページに掲載しています。

※本会議傍聴時の一時保育は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束するまでの間は休止します。

議決結果

＜全員賛成の議案及び報告案件＞

議案番号	案 件 名	議決結果
継続審査案件(令和2年9月定例会提案分)		
議案第133号	令和元年度吹田市水道事業会計剰余金の処分について	決 原案可決
議案第134号	令和元年度吹田市下水道事業会計剰余金の処分について	決 原案可決
認定第2号	令和元年度吹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第3号	令和元年度吹田市部落有財産特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第4号	令和元年度吹田市交通災害・火災等共済特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第5号	令和元年度吹田市勤労者福祉共済特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第6号	令和元年度吹田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第7号	令和元年度吹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第8号	令和元年度吹田市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定について	決 認定
認定第9号	令和元年度吹田市水道事業会計決算認定について	決 認定
認定第10号	令和元年度吹田市下水道事業会計決算認定について	決 認定
報 告		
報告第24号	吹田市開発ビル株式会社の経営状況について	報告
報告第25号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
条 例		
議案第138号	吹田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
議案第139号	吹田市保健所事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
議案第140号	吹田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第166号	吹田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
予 算		
議案第163号	令和2年度吹田市一般会計補正予算(第12号)	予 原案可決
議案第164号	令和2年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第165号	令和2年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	予 原案可決
議案第167号	令和2年度吹田市一般会計補正予算(第13号)	原案可決
その他の議案		
議案第141号	吹田市立小・中学校特別教室等空調設備整備事業契約の締結について	可決
議案第142号	佐竹千里山駅線道路改良工事請負契約の一部変更について	可決
議案第143号	調停条項案の受諾について	理 可決
議案第144号	公用車のリース契約の解除に係る損害賠償額の決定について	理 可決
議案第145号	吹田市津雲台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第146号	吹田市高野台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第147号	吹田市佐竹台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第148号	吹田市桃山台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第149号	吹田市青山台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第150号	吹田市藤白台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第151号	吹田市古江台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第152号	吹田市竹見台市民ホールの指定管理者の指定について	文 可決
議案第153号	吹田市立内本町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	文 可決
議案第154号	吹田市立亥の子谷コミュニティセンターの指定管理者の指定について	文 可決
議案第155号	吹田市立千一コミュニティセンターの指定管理者の指定について	文 可決

定例会の概要
代表質問
質問
常任委員会
意見書等
議決結果
1月臨時議会

議案番号	案 件 名	議決結果
議案第156号	吹田市立千里山コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第157号	吹田歴史文化まちづくりセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第158号	吹田市立武道館の指定管理者の指定について	可決
議案第159号	吹田市立総合運動場の指定管理者の指定について	可決
議案第160号	吹田市花とみどりの情報センターの指定管理者の指定について	可決
議案第161号	豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について	原案可決
議案第162号	吹田市・摂津市消防通信指令事務協議会の廃止に関する協議について	原案可決
議案第168号	吹田市教育委員会教育長の選任について	同意
議案第169号	吹田市教育委員会委員の選任について	同意
議案第170号	吹田市教育委員会委員の選任について	同意
議員提出議案		
市会議案第19号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	原案可決
市会議案第22号	尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾などに関する意見書	原案可決
市会議案第23号	少人数学級の実現を求める意見書	原案可決

<全員賛成以外の議案>

継続審査案件(令和2年9月定例会提案分)		
認定第1号	令和元年度吹田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
条 例		
議案第137号	吹田市名誉市民条例の制定について	原案可決
	修正案(議員提出分) * 1	否決
議員提出議案		
市会議案第20号	老朽化した関西電力の原子力発電所の再稼働に反対し、廃炉を求める意見書	否決
市会議案第21号	コロナ禍の下で年金を減額する制度の適用は中止し、年金支給額の改善を求める意見書	否決

※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
 財…財政総務常任委員会、文…文教市民常任委員会、健…健康福祉常任委員会、建…建設環境常任委員会、予…予算常任委員会、決…決算常任委員会
 * 1 議案第137号の修正案は、原案に対し、議員から提出された修正案です。(池淵議員ほか2人提出分)

賛否一覧表 全員賛成以外の議案について掲載しています。

	議決結果	日本共産党			公明党				自由民主党絆の会			大阪維新の会			民主・立憲		新選会		市民と歩		賛成	反対												
		益田洋平	村口久美子	山根建人	玉井美樹子	柿原真生	塩見みゆき	竹村博之	浜川剛	矢野伸一郎	井上真佐美	野田泰弘	吉瀬武司	小北一美	坂口妙子	泉井智弘	澤田直己	白石透	石田栄亮	里野善徳			高村将敏	橋本潤	齋藤晃	松尾翔太	井口直美	西岡友和	川本均	川本力	木村裕	有澤由真	石川勝	後藤恭平
継続審査案件(令和2年9月定例会提案分)																																		
認定第1号	認定		×		○		○		○		○		○		○		欠	○	○	○	○	27	7											
条 例																																		
議案第137号	原案可決	○	欠	○		○		○		○		○		○					○		退	○	31	0										
議案第137号 【修正案(議員提出分)】	否決	×	欠	×		×		×		×		×		×					×		○	×	3	31										
議員提出議案																																		
市会議案第20号	否決	○	欠	○		×		×		×		○		退					×		○	退	14	16										
市会議案第21号	否決	○	欠	○		×		×		×		×		×					×		○	×	9	25										

賛成者は○、反対者は×、退席者は退、欠席者は欠としています。
 認定第1号については、後藤議員(副議長)は議長に代わり議事進行を行ったため、採決に加わりません。
 会派名：大阪維新の会=大阪維新の会・吹田、民主・立憲=民主・立憲フォーラム、新選会=吹田新選会、市民と歩=市民と歩む議員の会、無=無所属クラブ
 村口議員(日本共産党)は、12月18日(金)の本会議(討論・採決)を欠席したため、認定案件を除く上記以外の議案の採決にも加わりません。

1月臨時会を開催

新型コロナウイルス感染症対策等に係る補正予算を可決

新型コロナウイルス感染症対策等に係る補正予算案などを審議するため、1月29日に、今年度5回目の臨時会となる1月臨時会を開きました。

本臨時会では、新型コロナウイルススワクチン接種体制の確保及び接種に係る費用や、市内登録店舗で使用できる吹田市プレミアム付商品券「すいたエール商品券」を特定病院及びひとり親世帯などに対して交付する経費などを計上した一般会計補正予算(第14号)など、市長から提出された2件の議案はすべて議決等を行いました。

なお、今年度の定例会や臨時会と同様に、議場においては手指の消毒及び発言時も含めたマスクの着用を徹底し、身体的距離を確保するため、提出案件に係る議事説明

員のみ出席要請するとともに一部の議員は開会時と採決時を除いて退席し、別室で議会中継を見て待機するなど、十分な感染防止策を講じた運営を行いました。

また、令和2年9月定例会から議場の議長席、演壇及び質問席に飛まつ感染防止用の透明アクリルパネルを設置し、新型コロナウイルスの感染リスクのさらなる低減に取り組んでいます。



1月臨時会の議場の様子

議決結果

<全員賛成の議案及び報告案件>

議案番号	案 件 名	議決結果
報 告		
報告第1号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
予 算		
議案第1号	令和2年度吹田市一般会計補正予算(第14号)	原案可決

*本臨時会では、委員会に付託された案件はありませんでした。また、賛否が分かれた議案はなかったため、賛否一覧表は掲載していません。



教えて！議会のこと④

「ルール」

民主的に、また円滑に会議を運営するため、議会にはさまざまなルールがあります。今回は主なものを紹介します。

会議公開の原則

会議(本会議)を原則として、公開することをいいます。

定定数の原則

特別な場合を除き、議員定数の半数(本市の場合は18人)以上が出席しなければ、会議を開くことができないことをいいます。

過半数議決の原則

特別な場合を除き、出席議員(議長を除く)の過半数で、議案の賛成または反対を決めることをいいます。

一事不再議の原則

同一会期中に一度議決された議案について、再度審議しないことをいいます。

会期不継続の原則

定例会や臨時会の会期はそれぞれ独立しており、その会期中に議決に至らなかった議案は、原則として会期終了とともに、審議未了、廃案となり、次の会期には継続しないことをいいます。